



Title	オープンアクセスを巡る状況と大阪大学におけるオープンアクセス支援
Author(s)	大阪大学附属図書館
Citation	
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/102690
rights	This article is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka



新任教員研修プログラム

オープンアクセスを巡る状況と 大阪大学におけるオープンアクセス支援



大阪大学附属図書館 学術情報整備課
電子コンテンツ担当

目 次

1. オープンアクセスを巡る状況

- ① オープンアクセスの背景と経緯 1 : シリアルズ・クライシスを中心に
- ② オープンアクセスの背景と経緯 2 : オープンアクセス運動の流れ
- ③ オープンアクセスの方法
- ④ オープンアクセス出版とAPC
- ⑤ プレダトリージャーナル

2. 大阪大学でのオープンアクセス支援

- ⑥ 「大阪大学オープンアクセス方針」
- ⑦ 大阪大学のオープンアクセス支援 1 : APC支援
- ⑧ 大阪大学のオープンアクセス支援 2 : 大阪大学学術情報庫 OUKA

オープンアクセスを巡る状況と
大阪大学におけるオープンアクセス支援①

オープンアクセスの背景と経緯 1： シリアルズ・クライシスを中心に



オープンアクセスとは

■ オープンアクセスとは

研究成果をインターネット上で公開し、誰もが無料で閲覧可能な状態にすること。

■ 意義

- ・業績の可視性や認知度の向上
- ・知的資源へのアクセス機会の確保、情報アクセスの平等化
- ・学術資源の共有による学術活動進展への貢献
- ・社会への説明責任を果たす
- ・助成機関が提示するオープンアクセス要件の充足

オープンアクセスとは

■ オープンアクセスとは

研究成果をインターネット上で公開し、誰もが無料で閲覧可能な状態にすること。

■ 意義

・業績の可視性や認知度の向上

- ・知的資源へのアクセス機会の確保、情報アクセスの平等化
- ・学術資源の共有による学術活動進展への貢献
- ・社会への説明責任を果たす
- ・助成機関が提示するオープンアクセス要件の充足

オープンアクセスとは

■ オープンアクセスとは

研究成果をインターネット上で公開し、誰もが無料で閲覧可能な状態にすること。

■ 意義

- ・業績の可視性や認知度の向上
- ・**知的資源へのアクセス機会の確保、情報アクセスの平等化**
- ・学術資源の共有による学術活動進展への貢献
- ・社会への説明責任を果たす
- ・助成機関が提示するオープンアクセス要件の充足

オープンアクセスとは

■ オープンアクセスとは

研究成果をインターネット上で公開し、誰もが無料で閲覧可能な状態にすること。

■ 意義

- ・業績の可視性や認知度の向上
- ・知的資源へのアクセス機会の確保、情報アクセスの平等化
- ・学術資源の共有による学術活動進展への貢献
- ・社会への説明責任を果たす
- ・助成機関が提示するオープンアクセス要件の充足

学術雑誌の価格高騰

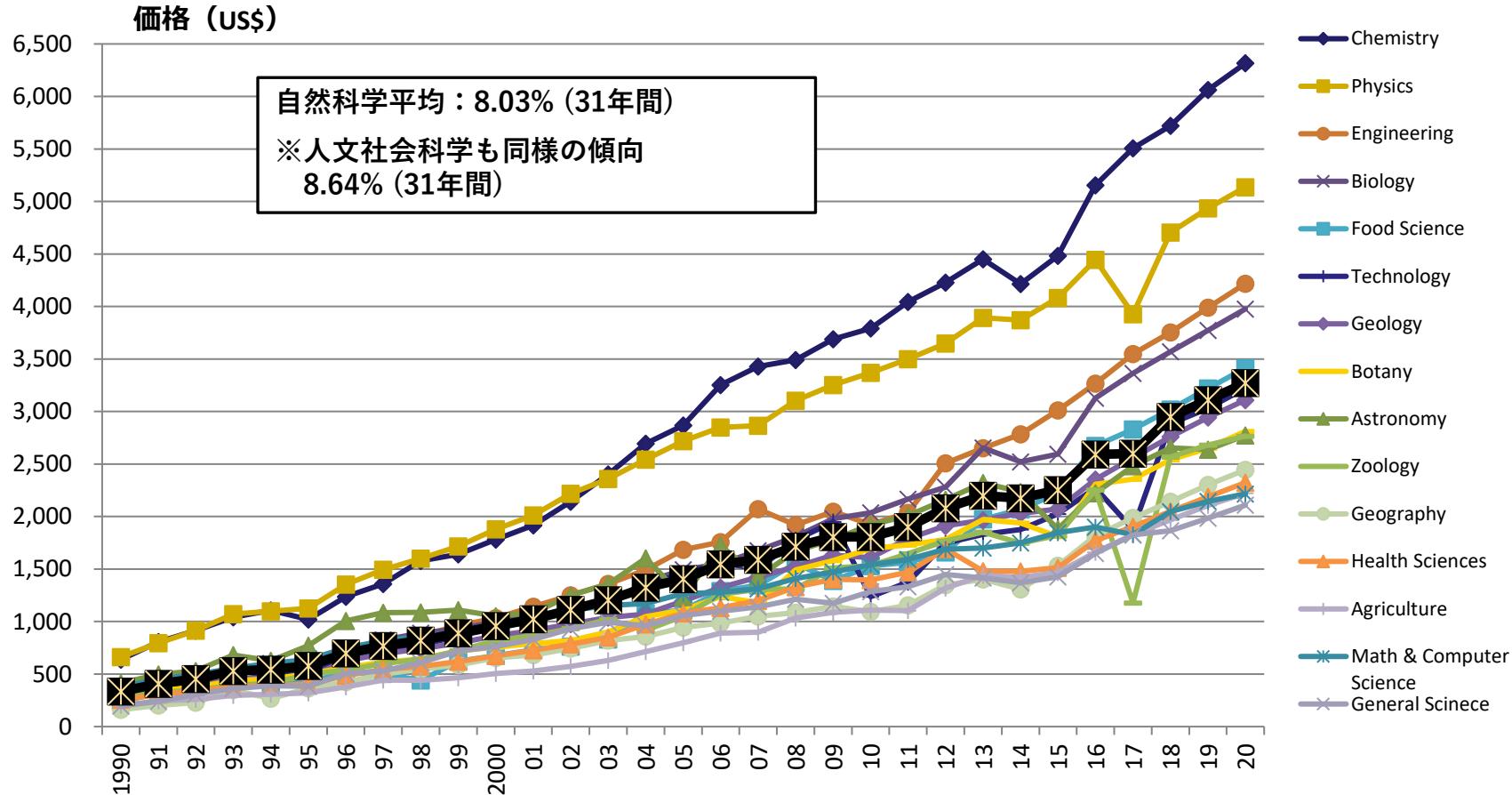
■ 「シリアルズ・クライシス」

- 学術雑誌購読料の恒常的な価格上昇により、購読タイトル数が減少。
 - 北米では1980年代末頃から
 - 日本では1990年代後半から顕在化

■ 電子ジャーナルの誕生

- 1990年代後半からIT技術の飛躍的発展により、学術雑誌の電子ジャーナル化が進む。
- 出版・流通コストの削減によって、シリアルズ・クライシスの解決策と期待されたが…。

自然科学系・海外学術雑誌(冊子)価格の推移



1990年から2020年までの"Library Journal"に掲載された"Periodicals Price Survey"による。
2017年以前は母数が異なるため、値は参考値。(JUSTICE事務局作成)

学術雑誌の価格高騰

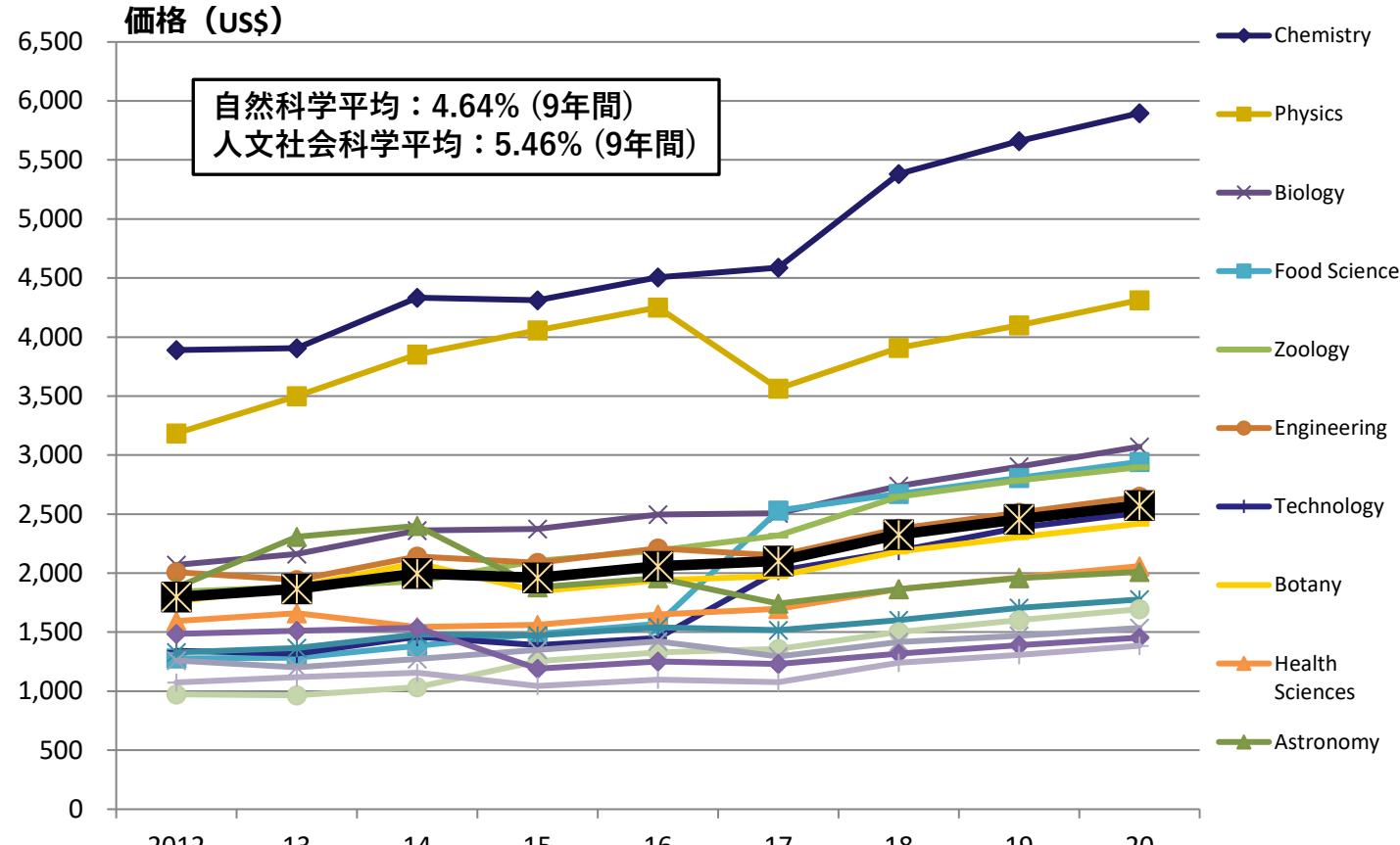
■ 「シリアルズ・クライシス」

- 学術雑誌購読料の恒常的な価格上昇により、購読タイトル数が減少。
 - 北米では1980年代末頃から
 - 日本では1990年代後半から顕在化

■ 電子ジャーナルの誕生

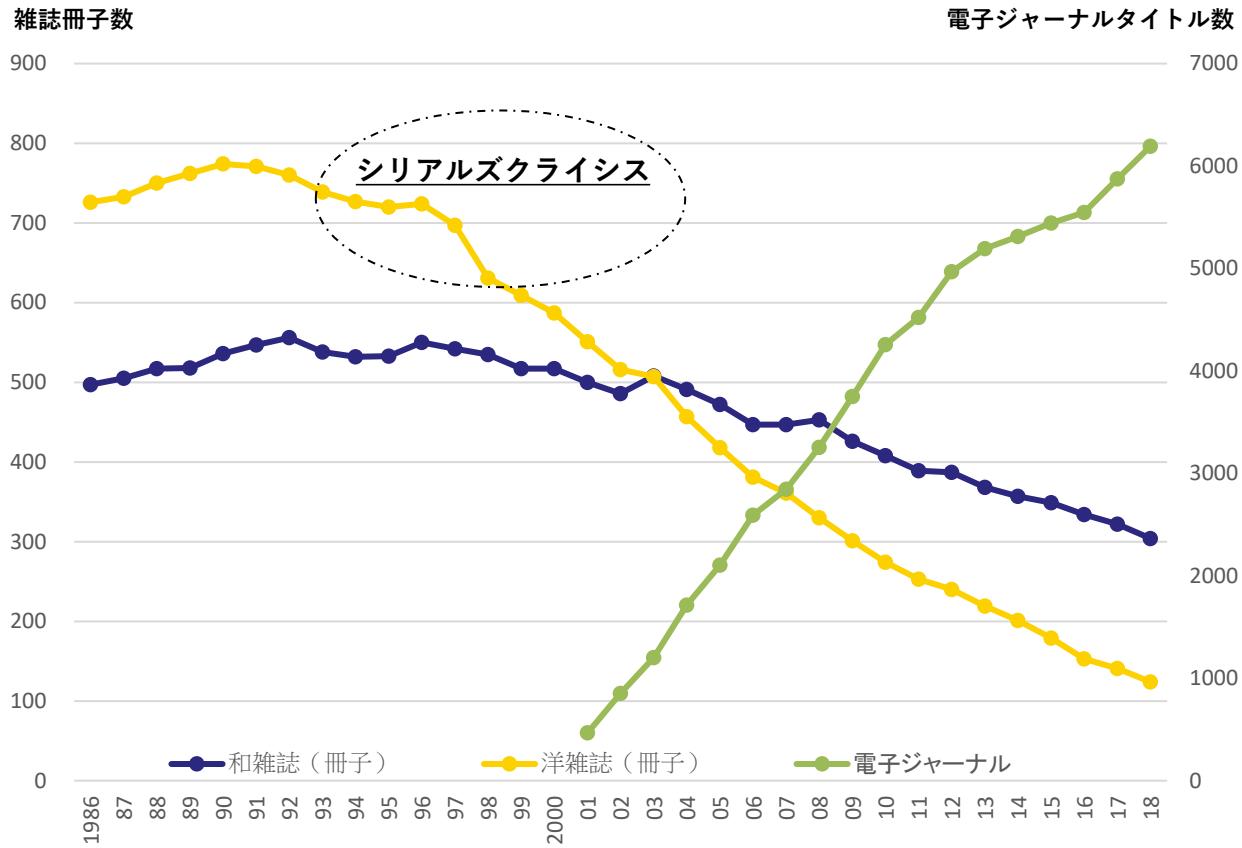
- 1990年代後半からIT技術の飛躍的発展により、学術雑誌の電子ジャーナル化が進む。
- 出版・流通コストの削減によって、シリアルズ・クライシスの解決策と期待されたが…。

自然科学系・海外電子ジャーナル価格の推移



2012年から2020年までの"Library Journal"に掲載された"Periodicals Price Survey"による。
2017年以前は母数が異なるため、値は参考値。（JUSTICE事務局作成）

日本の大学における雑誌受入数（平均）の推移



学術雑誌の価格高騰の理由

■商品としての特殊性

他のもので代替できない → 市場での価格競争にさらされない

■大手商業出版社による市場寡占

出版社に有利な契約条件が設定される

■論文数の増加によるコスト増

研究領域の細分化・研究者増・競争激化 → 論文数増 → コスト増 → 価格上昇

■システム機能強化への投資

開発費を価格に上乗せ

■利用数の増加

パッケージ契約により論文利用数が増加 → 契約を止めづらい

出版社の
言い分

大学の
事情

学術雑誌の価格高騰の理由

■商品としての特殊性

他のもので代替できない → 市場での価格競争にさらされない

■大手商業出版社による市場寡占

出版社に有利な契約条件が設定される

■論文数の増加によるコスト増

研究領域の細分化・研究者増・競争激化 → 論文数増 → コスト増 → 価格上昇

■システム機能強化への投資

開発費を価格に上乗せ

■利用数の増加

パッケージ契約により論文利用数が増加 → 契約を止めづらい

出版社の
言い分

大学の
事情

学術雑誌の価格高騰の理由

■商品としての特殊性

他のもので代替できない → 市場での価格競争にさらされない

■大手商業出版社による市場寡占

出版社に有利な契約条件が設定される

■論文数の増加によるコスト増

研究領域の細分化・研究者増・競争激化 → 論文数増 → コスト増 → 価格上昇

出版社の
言い分

■システム機能強化への投資

開発費を価格に上乗せ

大学の
事情

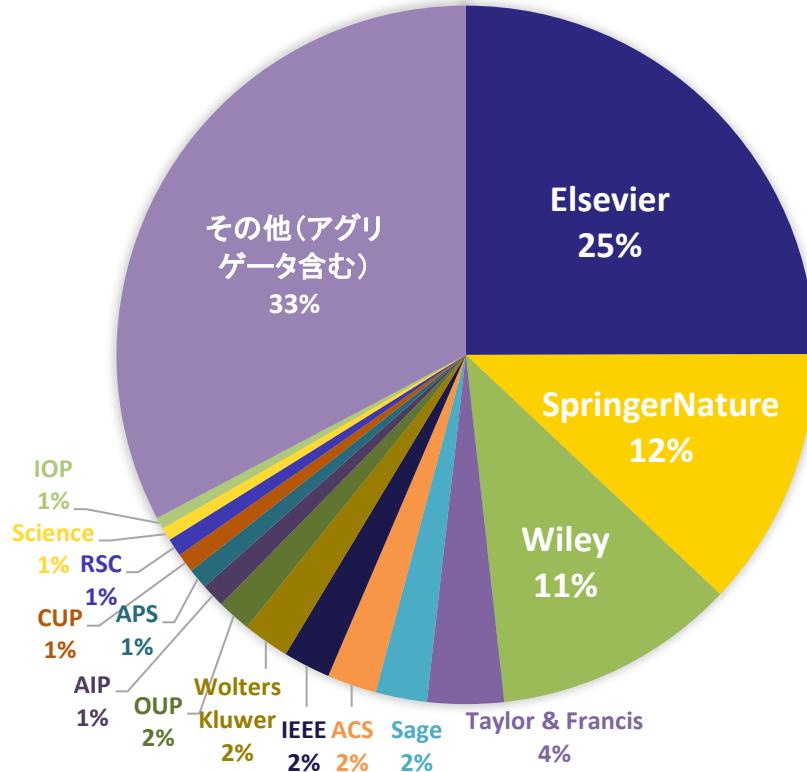
■利用数の増加

パッケージ契約により論文利用数が増加 → 契約を止めづらい

JUSTICE会員館における外国雑誌（冊子+電子） 出版社別の購読額割合

上位3社で48%
上位15社（※）で67%
を占める。

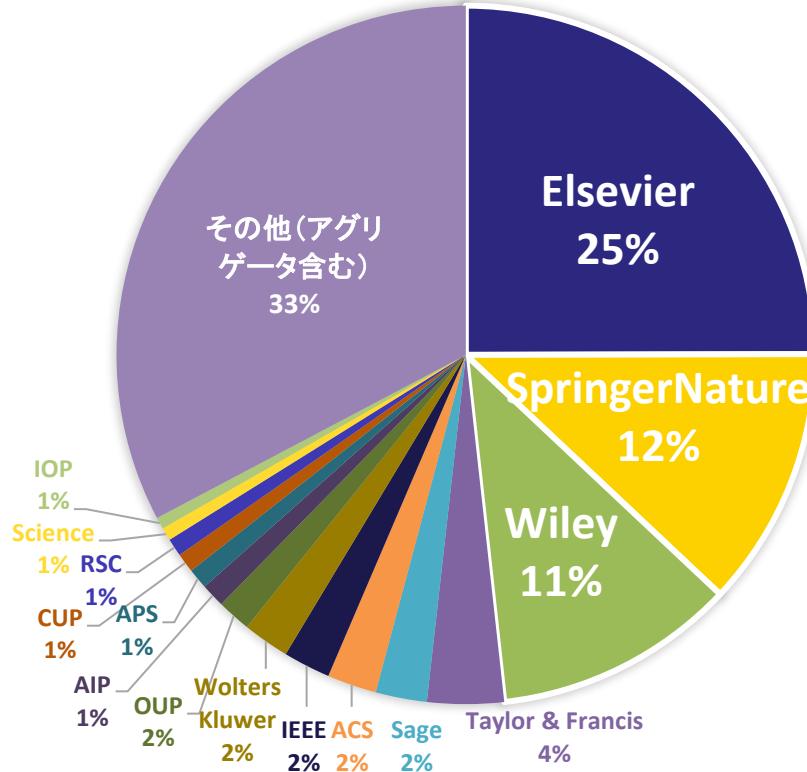
※上位15社
Elsevier, Springer Nature, Wiley,
Taylor & Francis, Sage, ACS, IEEE,
Wolters Kluwer, OUP, AIP, APS,
CUP, RSC, Science, IOP



JUSTICE会員館における外国雑誌（冊子+電子） 出版社別の購読額割合

上位3社で48%
上位15社（※）で67%
を占める。

※上位15社
Elsevier, Springer Nature, Wiley,
Taylor & Francis, Sage, ACS, IEEE,
Wolters Kluwer, OUP, AIP, APS,
CUP, RSC, Science, IOP



学術雑誌の価格高騰の理由

■商品としての特殊性

他のもので代替できない → 市場での価格競争にさらされない

■大手商業出版社による市場寡占

出版社に有利な契約条件が設定される

■論文数の増加によるコスト増

研究領域の細分化・研究者増・競争激化 → 論文数増 → コスト増 → 価格上昇

■システム機能強化への投資

開発費を価格に上乗せ

■利用数の増加

パッケージ契約により論文利用数が増加 → 契約を止めづらい

出版社の
言い分

大学の
事情

学術雑誌の価格高騰の理由

■商品としての特殊性

他のもので代替できない → 市場での価格競争にさらされない

■大手商業出版社による市場寡占

出版社に有利な契約条件が設定される

■論文数の増加によるコスト増

研究領域の細分化・研究者増・競争激化 → 論文数増 → コスト増 → 価格上昇

■システム機能強化への投資

開発費を価格に上乗せ

■利用数の増加

パッケージ契約により論文利用数が増加 → 契約を止めづらい

出版社の
言い分

大学の事情

パッケージ契約

■ パッケージ契約

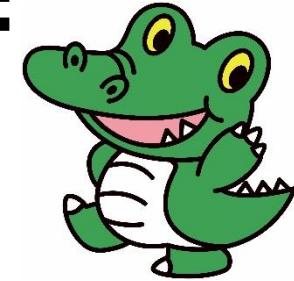
- ・出版社が提供するタイトルのすべて、もしくは一部のタイトルをセット化して販売する形態。
- ・下記のような契約を特に「ビッグディール」という。

■ 冊子の購読履歴に基づく価格設定

- ・購読誌（それまでの冊子の購読履歴）をベースにした金額に、少額の追加料金を支払うと非購読誌も閲覧可能になる。
- ・購読を中止すると閲覧できるタイトル数が激減するため、中止しにくい。
- ・パッケージ内のタイトルの中止に制限があり、購読金額を減らすことができないため、毎年支払額が上昇する。

次の動画

オープンアクセスの背景と経緯2：
オープンアクセス運動の流れ



次の動画

オープンアクセスの背景
オープンアクセス運動の流れ

視聴後は
確認問題へ！

